

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

心理状態の客観的把握とフィードバック手法の確立による生きがい・働きがいのある社会の実現

3. 研究開発課題名

内受容感覚の解読と制御によるメンタル調整技術

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

中澤 公孝(東京大学スポーツ先端科学連携研究機構 機構長)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、非侵襲・非拘束で計測した身体表層情報から身体の内的状態を解読することにより、無自覚のうちに行動変容を促す手法を採り入れメンタルと身体の状態を最適化するシステムの構築を目指すものである。

探索研究期間では、姿勢や歩行状態からメンタル状態を推定するための基盤データを取得し、統計的に有意な特徴を見出すことにより身体表層情報センシングの可能性を実証したことを評価する。

また、内受容感覚を中核としたメンタルのモデル化や制御については、アスリートを対象として日々の主観的心理状態と生理・行動データとの関連を見出すことなども着実に行われ、優れた成果が認められた。

今後は、一般生活者を含むより多くの層で適用可能なシステムに向けて研究開発が発展することを期待する。

以上